

2023年9月20日
西日本旅客鉄道株式会社
和歌山県立熊野高等学校

紀伊田辺駅×熊野高校

廃棄予定の傘を AED ハートフルシートに再製します

西日本旅客鉄道株式会社紀伊田辺駅（以下、紀伊田辺駅）と和歌山県立熊野高等学校（以下、熊野高校）は、駅に届けられたお忘れ物の傘の一部を「AED ハートフルシート」（※）に再製することで、リデュース（廃棄物の発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再資源化）の3Rを推進し、循環型社会の実現に向けた取り組みを開始しました。

※ 熊野高校の部活動「Kumano サポーターズリーダー部」が開発した AED 使用時におけるプライバシー保護と救命率向上を目的としたシート

1 取組内容

- ・紀伊田辺駅に届けられたお忘れ物の傘の中で、保管期限が満了し、廃棄予定の物の一部を熊野高校の部活動「Kumano サポーターズリーダー部」に無償で譲渡（月1回程度）
- ・「Kumano サポーターズリーダー部」は、傘のシートを「AED ハートフルシート」の材料として活用し、和歌山県内の AED 設置施設に配布予定

2 目的

- ・AED 使用率向上と救命率向上への貢献
- ・リデュース、リユース、リサイクルの3R推進による循環型社会の実現



高校生の取り組みの様子



AED ハートフルシート



1回目の譲渡の様子（9/13）

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に9番、11番、12番、に貢献するものと考えています。

